

鏑木清方美術館に展示されている日本画に用いられる色材とその説明

No.	名称	和名など	原産国	備考
①	アズライト	岩群青	アメリカ	東洋では一般的に用いられてきた青色で東アジアでは主に群青色として用いられた。
②	レッドジャスパー	赤茶	南アフリカ	鉄石英 赤色系に用いられる。
③	マラカイト	松葉緑青	コンゴ	孔雀石。銅の鉱床の上にてできる。緑色系に用いられる。
④	ガーネット	桜鼠	インド	柘榴石。1月の誕生石。ガラスの光沢があり赤色系に用いられる。
⑤	ブラックジャスパー	濃口鼠	インド	鉄石英 淡い鼠色に用いられる。
⑥	黒曜石	黒曜石末	メキシコ	火山岩の一種で、ガラス質、断面は貝殻状。黒色系に用いられる。
⑦	瑪瑙石	瑪瑙石末	ブラジル	石英などの結晶の集合体。樹脂光沢があり、色や透明度により縞模様がある。白色、赤褐色などの変化に富む。淡い赤色に用いられる。
⑧	虎目石	丁字茶	南アフリカ	青色と黄褐色で絹糸光沢がある。磨くと縞模様が虎の目のように見えることから虎目石という。黄色系に用いられる。
⑨	辰砂	岩辰砂	中国	中国湖南省の辰州で採取された辰砂鉱が良質であったことから名づけられた。粒子が粗いと深紅になり細かいと黄味がかかる。
⑩	金茶石	岱赭	日本	中国山西省の代州で採取されたものが良質であったことから名づけられた。古来より各地で使われ、茶色系に用いられた。
⑪	水晶	水晶末	ブラジル	石英で六角柱に先が尖っている。白色系に用いられる。
⑫	グリーンジャスパー	緑瑪瑙	インド	碧玉、出雲石とも呼ばれる。緑色系に用いられる。
⑬	碧玉石		南アフリカ	不純で不透明な玉髄。
⑭	珊瑚	珊瑚末	台湾	珊瑚虫の群体で、固い骨格を発達させるもの。赤色系に用いられる。
⑮	イエロージャスパー	岩黄土	インド	黄碧玉とも呼ばれる。黄色系に用いられる。
⑯	エピドート	緑簾石	アメリカ	石英。マグマが冷え固まってできた火成岩などから算出される。緑色系に用いられる。
⑰	金茶石	岩金茶	日本	鉄石英
⑱	アマゾナイト	白翠末	ロシア	火成岩などから産出され、微量の鉛で色づいている。淡い緑色系に用いられる。
⑲	ソーダライト	紫雲末	ブラジル	ラピスラズリを構成する鉱物の一種で、方ソーダ石。淡い青色系に用いられる。
⑳	電気石	電気石末	ブラジル	トルマリンとも呼ばれる。熱すると電気を帯びるため電気石と呼ばれ、ガラス光沢をもつ。日本では明治以降黒色系に用いられる。